

国際平和デー（2023年9月21日）100日前メッセージ

9月21日の「国際平和デー」まで残り100日となりました。

「国際平和デー」は、全ての国と人々の共通の理想である国際平和の実現を記念・推進するために国連が定めた日であり、平和の大切さや尊さを考える重要な一日です。この「国際平和デー」を強く推し進めておられるアントニオ・グテーレス国連事務総長のリーダーシップに、改めて心から敬意を表します。

今年の「国際平和デー」のテーマとして、「平和のための行動：#GlobalGoalsに対する私たちの野心」が掲げられ、私たち一人ひとりが、個人及び集団として平和を育むために行動する責任を認識することの大切さが呼び掛けられています。

平和首長会議では、今年も「国際平和デー」の趣旨に賛同し、166か国・地域の8,259の加盟都市に対して、広島・長崎に原爆が投下された8月6日と9日に加え、9月21日の「国際平和デー」に、市民一人ひとりが平和への願いを共有し、その実現を祈念する行事を開催していただくよう呼びかけます。

ロシアによるウクライナへの侵攻が長期化し、戦禍により罪のない多くの市民の命や日常が奪われています。このような現状を受け、平和首長会議では、市民の平和な暮らしを守る責務を負う自治体の首長から成る組織として、あらゆる暴力を否定する「平和文化」を振興し、市民社会に根付かせることで、為政者が対話を通じた外交政策を目指す環境づくりをより一層推進していきたいと考えています。

本日から「国際平和デー」までの100日間、改めて、各加盟都市が心を一つにし、「平和文化」を築くための市民の取組を着実に推進し、世界中の市民と共に、核兵器の廃絶とその先にある世界恒久平和の実現に向けて歩みを進めましょう。

2023年6月13日

平和首長会議会長

広島市長 松井 一實